

郡病院・保健センターの小児医療保健スタッフ育成および  
住民による小児医療保健サービス利用促進プロジェクト

<事業開始前の写真>

	<p>手洗いは感染症予防の基本です。しかし、水衛生設備がなかった頃は、ヘルスセンターの家屋やトイレと水ポンプが繋がっておらず、不便であるばかりか手洗い習慣が身につきませんでした。写真はヘルスセンター（ムラパモク郡）</p>
	<p>同ヘルスセンター家屋から離れたところに設置された水ポンプ</p>
	<p>同ヘルスセンターの裏にあるトイレ設備。水はひかれていませんでした。</p>



©Lam Duc Hien

当時、妊産婦へのサービス無償化は既に導入されており、妊産婦向けの教育集会では、子どもを連れた母親が多く参加していました。しかし、その子どもたちが医療サービスを受けるためには、自己負担で受診しなければならず、5歳未満児の医療施設利用は促されませんでした。



©Lam Duc Hien

妊産婦へのサービスが無償減免化され、助産師の育成も進められ多結果、徐々に妊産婦のヘルスセンター利用が増えていました。

写真はムラパモク郡のヘルスセンター



©Lam Duc Hien

無事に出産を終えても、子どもが大きくなるまでは、母親には多くの悩みがうまれます。身近な医療施設に相談者がいることが、母親や地域の安心につながるのです。以前はそれが充分ではありませんでした。